

令和2年度 多機能型事業所「摂津市立ひびきはばたき園」事業報告

(1) 概況

ひびきはばたき園では、総合支援法に基づく多機能型事業所として、生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型・自立訓練（生活訓練）の各事業を実施した。

生活介護では、自閉症スペクトラムや行動障害のある方に対して構造化を中心とした手法で落ち着いて過ごせる環境を整えた。その結果、活動や行動に見通しを持ち作業に集中できるようになり利用者の活動の幅も広がった。近隣の企業から作業を請負い、生産活動の機会を提供し工賃支給へと繋がった。

就労移行支援では、自立訓練にて2年間の訓練を経て就労移行支援サービスを利用した4名の利用者が、就労（一般就労1名、A型事業所3名）に結びついた。また、就職後は安定しながら継続雇用ができるよう一定期間の就労定着支援に努めた。

就労継続支援B型では、「小型家電リサイクル事業（希少金属の再資源化）」と施設外就労「トレイ選別リサイクル事業」、その他請負作業と新たにシール張り作業を導入する事で充実した取り組みができた。また、利用者の就労意欲の向上と地域生活での潤いにも繋がった。

自立訓練では、カリキュラム内容の見直しを行い、利用者のスキルに沿った幅広いカリキュラムを提供した。また、サービス終了後の進路先について、一人ひとりの適性とニーズを確認しながら面談を重ね次の進路に繋げた。その他、新たな利用者確保の為に、支援学校や関係機関への情報提供を強化した。

今年度は、利用者が快適に園生活を送る事ができるよう空調設備や照明器具の交換、トイレや扉の修繕等を行いながら、利用者が安全に安心して登園できるよう危険箇所を把握し環境整備も行った。今後も定期的な点検と計画的な改修・修繕が円滑に進むよう努めたい。また、新型コロナウイルス感染拡大により、例年の事業や行事の縮小及び中止が余儀なくされ、少なからず授産作業にも影響がでた。感染対策として手洗いうがいの徹底と各部屋への換気器具の設置。3密を避ける取り組みとして、時間差での給食の提供と活動の分散化、利用者へ見て分かりやすいルールの掲示等に取り組んだ。

ひびきはばたき園では、職員の意識改革と今後の事業及びサービスの展開の礎を築くことを目指し、職員の資質向上・意識の統一を図りながら、福祉を支える人材育成に努め、利用者が求める良質なサービス提供ができるように取り組んだ。

(2) 支援の状況

■生活介護

生活介護では、利用者一人ひとりに応じた、専門的知識・技術に基づく「日中活動の場」を提供し、安全性の確保や園内支援の充実に重点を置いた取り組みを実施した。また、昨年度に引き続き構造化支援に取り組み、利用者が活動できる場を提供した。その他、近隣の企業よりシール張り作業を頂き、生産活動の機会の提供を通して達成感や社会の一員としてのやりがい・いきがいをを感じる活動に取り組み、工賃として還元した。

① 個別支援計画

多様化した個別のニーズに応じるため、個別支援計画の作成、個別アプローチ、個別に応じたサービスを提供した。また、緊急時の対応については、状況に応じて適切な支援を行った。

② 支援者づくり

障がい者の『自立』には、支援者は必要不可欠である。一人でも多くの理解者や、サポートを得るために積極的にボランティアを受け入れ、制度サービスの活用に努めてきた。

また、移動支援事業「てくてく」を開始して以降、家族へ制度やサービスの利用についての働きかけや、積極的なガイドヘルパーの利用を促してきたが、今年度は、新型コロナウイルスの影響で事業を実施する事ができなかった。

③ 日中活動の充実（療育活動・作業訓練・生活支援）

個別支援を基本とし、個別プログラムの充実や安全を確保するために活動内容・障がい程度を基準に、いきいき・わくわく・うきうき・のびのび・かがやきの5クラスに編成し、個別プログラムに合わせた活動を行った。

（ア）いきいきクラス

理学療法士の指導による、機能回復・維持訓練やリラクゼーション活動・リラックスタイム・気候に応じた外気浴など、ゆとりを持ったプログラムを設定し基本的な生活習慣の獲得・向上を目指した。

（イ）わくわくクラス

集団を意識しながら個人に応じた作業を取り入れ、和紙作業・生産活動（シール張り作業）・制作活動・レクリエーションなどの活動を行った。

（ウ）うきうきクラス

安心して見通しが持てるよう構造化を個別に行い、課題に応じた作業を取り入れ運動・散歩・レクリエーションなどの活動を行った。

（エ）のびのびクラス

作業手順や自立を目的とした構造化を行い、和紙作業・生産活動（シール張り作業）・制作活動・レクリエーションなどの集団を意識できる活動を行った。

（オ）かがやきクラス

利用者の健康維持管理に努め、理学療法士による機能回復・維持訓練を実施した。音楽療法・調理訓練・作業療法・集団体操など多彩なプログラムを提供するなか、個々に応じた活動を行った。

④ 生活支援

利用者一人ひとりのニーズに応えるために個別支援計画（6ヶ月ごとに見直し）をもとに個別へのアプローチや個々に応じたサービス支援を行った。緊急時の対応としても、必要に応じた適切な支援を行った。

⑤ 生産活動（収入状況）

（単位：円）

内 容	年間収入	事業所
シール張り作業	16,390	(株)フレッシュファーム
収 入 合 計	16,390	

⑥ 工賃支給状況

（単位：円）

工 賃 支 給 総 額	利用者数	工 賃 / 年
15,122	9	1,680

■就労移行支援・就労継続支援B型・自立訓練（生活訓練）

就労移行支援では、カリキュラム（ビジネスマナー、学習、面接、履歴書等）を充実させ実践的な訓練（面接会等）と、仕事のイメージをより実感し理解し経験する為の職場実習の充実に努めた。また、就労継続のためのきめ細かな職場定着支援にも取り組んだ。その他、支援学校や関係機関への啓発活動と、ハローワーク、茨木・摂津障害者就業・生活支援センター、せつつくすのき、関係機関との連携も強化した。

就労継続支援B型では、障がい者の働く場と位置づけ、安定したサービスの提供を基本に、「障がい者の自立へ向けての支援」に取り組んできた。また、積極的な働きかけにより、官公需要や地域の企業からの作業受注と新たにシール張り作業の導入を行った。

また、就労移行支援の作業資源を作業プログラムに取り込む事により、作業指導の活性化を図った。

その他、市からの業務委託事業（食品トレイ選別作業）に8名の利用者と職員で従事し、施設外就労として、就労継続支援B型利用者の訓練資源の一つとしても活用することができた。

環境業務課・障害福祉課の協力の下、小型家電リサイクル事業のパソコン解体に取り組む事で、作業内容の幅が広がり充実した作業の提供ができた。

自立訓練（生活訓練）では、就職を目指す準備期間として生活能力の向上、社会人としての基礎を学べるよう取り組んできた。前期（1年目）、後期（2年目）の総合的なカリキュラムや課題を定めることで、利用者の能力に沿いながら訓練を行うことができた。

また、将来に向けた目標が確立できるよう情報提供や面談を繰り返し、家族や相談支援事業所等と連携しながら円滑に進路に繋がるよう努めた。その他、選ばれる事業所を目指し、支援学校や関係機関への啓発活動も強化した。

① 作業訓練と還元金の配分

個別支援計画（就労移行支援は3ヶ月ごと、就労継続支援B型は6ヶ月ごとに見直し）に沿った支援を実施した。

就労移行支援と就労継続支援B型では、陶芸や軽作業（電気部品の加工作業、小型家電解体作業）と食品トレイ選別作業に取り組んだ。そして、還元金支給取扱い要綱の基に工賃を配分した。

② 生活支援プログラムの充実

定期的なプログラムとしては、利用者の個別ニーズに即した内容（自治会・情報提供・運動）を実施した。

③ 主体性、自己決定の尊重・支援とエンパワメントを重視した支援

生活支援プログラムの中で自らの考えや思いを表現・実現できるように支援した。

④ 家庭生活、地域生活支援

個々の事情により生活全般の支援が必要な利用者については、家庭訪問や障害福祉課、相談支援事業所と連携しながら生活支援を行った。

前年度に引き続き、家族からの支援が望めない諸事情のある利用者について「一人暮らし・自立」への全般的な地域生活支援を実施した。また、障害者福祉課、生活支援課、相談支援事業所、その他関係機関と連携を強化しつつ、当園が軸となって支援を推し進めた。その他、健康で安心・安全な生活が送れるよう通院支援も実施した。

⑤ ボランティアや実習生の受け入れ

社会福祉活動への一般の方の関心や参加が増加している中、ボランティア受け入れの理念統一とシステムの整備、啓発を続けてきた。実習生の受け入れについても教育への協力と捉え、積極的に受け入れてきた。

⑥ その他

施設支援計画や機関紙など、利用者への情報提供や案内文等には平易な表現やひらがなやルビ、写真を使用、また苦情解決システムの充実に努めた。

⑦ 作業指導

■就労移行支援、就労継続B型

・ 陶芸

市主催事業の記念品などの大量注文を中心に、干支の置物製作・販売も並行して行い、幅広くさまざまな陶器の受注製作を行った。

・軽作業

株式会社ダイキンサンライズ摂津の電気部品のコード巻き作業を中心に、株式会社フレッシュファームからのシール張り作業を受注した。また、不定期作業として障害福祉課より「障害者週間」の啓発のカイロの袋詰め作業を行った。この他2ヶ月に1回、建設会社からのダイレクトメール袋詰め作業にも取り組み、利用者一人ひとりが役割と目標をもって取り組むことができた。

・食品トレー選別作業

摂津市内から集められた食品トレーの分別・選別を行い、リサイクルとゴミに選別した。施設外就労を行う事で、利用者の経験拡大と工賃向上に繋がり、リサイクルへの意識も向上した。

・小型家電リサイクル作業

主にパソコンを解体し、鉄・アルミ・ステンレスそして、金・銅・パラジウム等の希少金属（レアメタル）を海外流出させず国内循環し、社会に貢献できる事業である。作業の拡大と工賃の向上にも繋がった。

■自立訓練（生活訓練）

就労移行支援、就労継続支援 B 型より作業提供を受け、利用者一人ひとりの適性の把握や意欲の向上が図れた。

⑧ 就労活動

■就労移行支援

(人)

実施日	名 称	場 所	参加者
6月15日	求職活動	ハローワーク茨木	2
7月3日	求職活動	ハローワーク茨木	3
9月7日 ～18日	企業・事業所実習	株式会社 JFR クリエ	1
10月5日 ～16日	企業・事業所実習	アートバンライン 株式会社	2
10月7日	求職活動	ハローワーク茨木	3
10月19日 ～23日	企業・事業所実習	株式会社 フレッシュファーム	1
10月28日	求職活動	ハローワーク茨木	1
11月13日	求職活動	ハローワーク茨木	1
11月16日 ～27日	企業・事業所実習	AsFine アビリティ	1
11月20日	求職活動	ハローワーク茨木	1
11月24日 ～12月4日	企業・事業所実習	AsFine アビリティ	1

11月25日	求職活動	ハローワーク茨木	2
12月15日	求職活動	ハローワーク茨木	2
12月25日	企業・事業所実習	フラワーショップ林	3
1月7日	求職活動	ハローワーク茨木	3
1月20日	求職活動	ハローワーク茨木	2
1月25日	求職活動	ハローワーク茨木	1
2月2日	求職活動	ハローワーク茨木	1
2月25日 ～19日	企業・事業所実習	ほまれの家茨木店	1
3月9日 ～12日	企業・事業所実習	株式会社 エスプールプラス	1
3月23日	求職活動	ハローワーク茨木	2

⑨ 就職状況

■就労移行支援

(人)

事業所名	職 種	所在地	人数
株式会社フレッシュファーム	袋詰め、梱包	摂津市	1
就労継続支援 A 型事業所 AsFine アビリティィ	軽作業	摂津市	2
就労継続支援 A 型事業所 ほまれの家茨木店	軽作業	茨木市	1

⑩ 生産活動（収入状況）

■就労移行

(単位：円)

内 容	年間収入	事業所
陶芸作業	630,850	
その他	100,000	カネカ労働組合大阪支部
収 入 合 計	730,850	

■就労継続 B 型支援

(単位：円)

内 容	年間収入	事業所
園芸作業	2,700	
清掃作業	184,800	(株)セラ
空缶・古紙回収	38,033	
電気部品の加工作業	378,512	(株)ダイキンサンライズ摂津
建設会社DM作業	112,930	エッグ住まい工房
箱折り作業	8,275	リバティィ
シール張り作業	50,161	(株)フレッシュファーム

マスク作業	51,200	
カイロ袋詰め等請負作業	67,500	官公庁等
小型家電解体作業	981,497	摂津市役所、一般持ち込み等
食品トレイ選別作業	8,998,540	環境業務課
その他	11	
収入合計	10,874,159	

⑪工賃支給状況

■就労移行支援

(単位：円)

月	工賃支給総額	利用者数	平均工賃
4	33,572	7	4,796
5	37,084	8	4,636
6	38,921	8	4,865
7	38,988	8	4,874
8	35,000	8	4,375
9	39,813	8	4,977
10	38,410	8	4,801
11	35,416	8	4,427
12	32,876	7	14,130
一時金	66,032		
1	27,105	7	3,872
2	24,375	5	4,875
3	22,446	5	9,178
一時金	23,443		

工賃支給総額	平均工賃／ヶ月
493,481	5,672

■就労継続B型支援

・食品トレイ選別作業

(単位：円)

月	工賃支給総額	利用者数	平均工賃
4	634,030	8	79,254
5	498,420	8	62,303
6	861,940	8	107,743
7	820,760	8	102,595
8	715,680	8	89,460
9	773,900	8	96,738

10	848,450	8	106,056
11	693,670	8	86,709
12	792,360	8	99,045
1	744,080	8	93,010
2	705,030	8	88,129
3	910,220	8	1,137,775

・軽作業

(単位：円)

月	工賃支給総額	利用者数	平均工賃
4	91,668	10	91,667
5	88,610	10	8,861
6	87,613	10	8,761
7	88,692	10	8,869
8	80,500	10	8,050
9	77,000	9	8,556
10	82,500	9	9,167
11	82,500	9	9,167
12	84,875	9	45,264
一時金	322,500		
1	81,579	9	9,064
2	81,388	9	9,043
3	81,739	9	64,199
一時金	496,052		

工賃支給総額	平均工賃 / ヶ月
10,825,756	51,798

(3) 行事

行事指導は、生活指導の一環として位置付け、種々の生活場面を導入しレクリエーション的要素・学習的要素を含む取り組みにより、知識・経験の拡大を図る目的として実施予定だったが、今年度は、多くの行事が新型コロナウイルスの影響で自粛もしくは中止となった。

■生活介護・就労移行支援・就労継続支援 B 型・自立訓練（生活訓練）

実施日	行事名	場 所	参加人数	内 容
12月22日	ジャンボ クリスマス大会	各サービス作業室	利用者 生介 23 かがやき 3 移行 6 B型 9 自立 3	園で作成した動画上映と、各サービスでクリスマスにちなんだ催しを行う。 <u>新型コロナウイルスの影響で縮小</u>

※その他、摂津宥和会運動会・風船バレーボール大会・つくっ展と輝けコンサート等については、新型コロナウイルスの影響で全て中止となった。

■生活介護

実施日	行事名	場 所	参加人数	内 容
8月28日	夏祭り	作業室C、A、食堂	利用者 生介 26 かがやき 4	コロナウイルス感染予防に努め、小グループに分かれ、ヨーヨーすくいや当て物等を企画。自粛生活の利用者に楽しんでもらえるよう計画。

※その他、懇親会、園外活動・スプリングフェスタ等については、新型コロナウイルスの影響で全て中止となった。

■生活介護かがやき

① 食事会

※新型コロナウイルスの影響で中止となった。

② 社会見学

※新型コロナウイルスの影響で中止となった。

■就労移行支援・就労継続支援 B 型・自立訓練（生活訓練）

実施日	行事名	場 所	参加人数	内 容
11月4日	体験学習	寝屋川市野外活動センター	利用者 移行 7 B型 16 自立 3	コロナウイルス感染予防に努めながら、屋外での企画。自粛や制限がある生活の中で、ストレス発散と軽減、今後の活力へ繋げる。

(4) 家庭との連携

■生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型・自立訓練（生活訓練）

定例的な個別面談や家族会などにとどまらず、必要に応じて個別面談や電話による情報交換などを行った。

項目	実施日	内 容
個人面談 家庭訪問	随 時	個別支援計画（生活介護・就労継続支援B型は年2回・就労移行支援、自立訓練（生活訓練）は年4回以上）の説明と同意を得た。 個別のケースについて必要に応じて個別に面談や家庭訪問を実施することで本人や家族の声を聞き、受容し、信頼関係を築き、問題解決を図った。また、新型コロナウイルス感染予防として電話での面談を実施した。
給食試食会		新型コロナウイルスの影響で中止となった。
家族会		新型コロナウイルスの影響で中止となった。
機関紙	毎月1日 発行	当月の予定や利用者の全般的な様子を掲載し、毎月1日に発行した。
月課表	毎月1日 発行	当月の予定を配布した。
連絡帳	毎 日	毎日の連絡帳を通じて、利用者の健康状態・家庭での様子・検温・排泄時間・意見等家族とのコミュニケーションを図った。 (生活介護のみ)
電話連絡	随 時	最も迅速かつ正確な連絡方法であり、即応しなければならない場合に実施した。
その他	適 時	家族の都合により、9時から17時の間で一時預かりをする。登園時間外は、自力での登降園となる。

① ショートステイ先との連携

家庭の事情等によりショートステイや日中一時を希望される利用者に対しての支援として、ショートステイ先に、園での様子を引き継いだ。また、各事業所とも必要に応じて引継ぎや調整、送迎等の支援を適宜行った。

② 医療との連携

個別に応じて、家族の依頼に基づき円滑な通院ができるように、情報提供や病院との連携を行った。

③ 市との連携

市施策や園運営・支援状況、市内障がい者福祉情勢等の情報交換を行い、利用者ニーズに十分応えられるよう、随時連絡体制を確保した。

④ その他

入所前より詳細な生活内容や発達歴、各種サービスの利用を把握するために支援学校より引継ぎや助言を求めた。また、希望者については円滑な入所ができるよう、事前に進路選択等事業を利用し実習や受け入れを行った。

(5) 法人内他施設との連携

・就労支援機関事業所連絡会

摂津市障害者職業能力開発センター せっつくすのきと茨木・摂津障害者就業・生活支援センターの三施設で求人や就労活動の情報提供を密に行い円滑な支援ができるように連携を図った。

・みきの路との交流

みきの路の運動会や当園のクリスマス会、「つくっ展と輝けコンサート」等の催しにお互いの利用者が参加し交流していたが、今年度は、新型コロナウイルスの影響で実施できなかった。

・グループホーム「ヒマワリ」入所

ヒマワリ、相談支援事業所ウイング、ご家族とスムーズに入所できるように連携を図った。

(6) 健康管理

今年度も感染症予防のため、インフルエンザ、病原性大腸菌O-157、ノロウイルスの感染拡大を防止するため手洗いを励行し、健康状態の把握に努め、家庭と園の連携で健康管理を図ると共に、今年度は、新型コロナウイルス感染予防として、検温・手指消毒・うがい・3密防止を徹底した。

看護師の来園時（月2回）、薬品の整理や使用方法、健康面・衛生面での助言や指導を受けたり、「保健だより」を発行して、より利用者が快適で安全な園生活を送ることができるよう努めた。

① 環境整備

- 冷暖房調節・換気、温湿度計の管理
- 薬箱・体温計の整理・管理（作業室C） ○医薬品管理
- 業者による園舎内清掃、消毒 ○手指などのアルコール消毒
- マスク ○非接触体温計 ○ペーパーホルダー ○換気器具設置

② 健康の維持・管理

- 健康カード作成（個人データの整理）
- 検温（体調不良時には随時） ○血圧測定
- 理学療法士による運動プログラム ○配慮食・きざみ食の提供
- インフルエンザ対策（手洗い・うがい励行 検温・視診）
- 健康チェックカード（毎登園時提出）

③ 服薬管理

- 医療調査票作成（通院状況・服薬状況・担当医調査）
- 服薬管理（活動時間内に服薬する利用者の服薬管理）

④ 作成資料

- (ア) 保健だより 年 3 回発行
- (イ) 通院状況表
- (ウ) 服薬調査表
- (エ) 健康チェックカード

⑤ 健康診断

- (ア) 内科医健診

実施日	7月 30日	11月 9日
-----	--------	--------

- (イ) 血圧・脈拍測定

実施日	毎月 1 回
-----	--------

* 健診日に欠席の場合、看護師の来園日に随時測定

- (ウ) その他健診、検査

歯科健診

実施日	新型コロナウイルスの影響で中止
-----	-----------------

検尿

実施日	7月 14日	11月 12日
-----	--------	---------

(7) 給食の提供

給食については、利用者の健康の維持・増進、生活習慣病の予防や家庭での食生活の意識向上を目指して実施している。栄養素の摂取不足によって生じるエネルギー及び栄養素欠乏症の予防に留まらず、過剰摂取による健康障害の予防や生活習慣病の一次予防も重要である。給食業務をウオクニ株式会社に委託して17年目となり、月1回定期的に同社の営業・栄養士・調理員・施設側の支援員・栄養士で会議を行い密に連携をとった。利用者にとってより安全で楽しく、美味しく食事をしてもらおう環境作りを考えるよう努めた。サービス向上委員会において、今年も給食のサービス向上のためのアンケートを実施し、その声を反映した給食提供をした。食事は、あくまで個人的なものであることから個人が必要とする栄養量を満たした食事摂取基準を算定し、美味しく、衛生的な食事であることにも努めた。また、個別の栄養アセスメントにも対応できるようにした。給食における「食生活の指針」をたて、次のとおり実施した。

1. 給食会議の充実
2. 「給食だより（献立表）」の発刊（月1回）
3. 残食検査の実施
4. 食事提供状態の充実
5. 衛生管理の充実

(8) 利用者の状況

①通所状況 (在籍者数は月初の人数)

■生活介護

(人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	29	29	29	29	29	29	29	30	30	30	30	30	
支援日数 (日)	21	18	22	21	20	20	22	19	20	19	18	23	243
延利用数 (人)	383	265	530	512	449	489	530	477	485	464	444	593	5,621

■生活介護(かがやき)

(人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	10	9	9	9	8	9	9	10	10	10	10	9	
支援日数 (日)	21	18	22	21	20	20	22	19	20	19	18	23	243
延利用数 (人)	37	26	53	57	55	53	57	63	50	46	43	49	589

■就労移行支援

(人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	7	8	8	8	8	8	8	8	7	7	5	5	
支援日数 (日)	21	18	22	21	20	20	22	19	20	19	18	23	243
延利用数 (人)	85	72	172	166	141	160	170	136	134	104	89	104	1,533

■就労継続支援B型

(人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	18	18	18	18	18	17	17	17	17	17	17	17	

支援日数 (日)	21	18	22	21	20	20	22	19	20	19	18	23	243
延利用数 (人)	275	235	372	354	309	313	357	308	331	297	290	373	3,814

■自立訓練（生活訓練） (人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
支援日数 (日)	21	18	22	21	20	20	22	19	20	19	18	23	243
延利用数 (人)	39	43	74	70	55	58	74	62	57	54	63	77	726

②年齢別（令和3年3月31日現在）

■生活介護 (人)

年齢 性別	18～19才	20～24才	25～29才	30才～	計
男	3	5	3	11	22
女	0	1	0	8	9
計	3	6	3	19	31

■生活介護かがやき (人)

年齢 性別	30～39才	40～49才	50～59才	60～69才	70～79才	80～89才	計
男	1	2	0	1	0	1	5
女	0	1	0	1	2	0	4
計	1	3	0	2	2	1	9

■就労移行支援 (人)

年齢 性別	18～19才	20～24才	25～29才	30才～	計
男	0	0	1	1	2
女	0	1	1	0	2
計	0	1	2	1	4

■就労継続支援 B 型 (人)

年齢 性別	18～19 才	20～24 才	25～29 才	30 才～	計
男	1	3	1	5	10
女	0	0	0	7	7
計	1	3	1	12	17

■自立訓練（生活訓練） (人)

年齢 性別	18～19 才	20～24 才	25～29 才	30 才～	計
男	2	0	0	0	2
女	1	0	0	0	1
計	3	0	0	0	3

③手帳の所持

(ア)療育手帳 (令和3年3月31日現在)

■生活介護 (人)

判定 性別	A	B 1	B 2	計
男	21	0	0	21
女	9	0	0	9
計	30	0	0	30

■就労移行支援 (人)

判定 性別	A	B 1	B 2	計
男	0	2	0	2
女	0	2	0	2
計	0	4	0	4

■就労継続支援 B 型 (人)

判定 性別	A	B 1	B 2	計
男	5	5	0	10
女	1	5	1	7
計	6	10	1	17

■自立訓練（生活訓練） (人)

判定 性別	A	B1	B2	計
男	1	1	0	2
女	0	1	0	1
計	1	2	0	3

(イ) 身体障害者手帳 (令和3年3月31日現在)

■生活介護 (人)

級 性別	1級	2級	3級	4級	計
男	1	3	0	1	5
女	1	1	0	1	3
計	2	4	0	2	8

■生活介護かがやき (人)

級 性別	1級	2級	3級	4級	計
男	3	2	0	0	5
女	1	3	0	0	4
計	4	5	0	0	9

(ウ) 障害支援区分 (令和3年3月31日現在)

■生活介護 (人)

区分 性別	区分6	区分5	区分4	区分3	計
男	6	8	6	2	22
女	1	3	5	0	9
計	7	11	11	2	31

■生活介護かがやき (人)

区分 性別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	計
男	0	1	4	0	0	5
女	0	1	0	0	3	4
計	0	2	4	0	3	9

(9) 各種会議

利用者の処遇向上と職員間の連携を図るため、次のとおり会議を開催した。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 施設連絡会議 (月2回) | 2. 運動会実行委員会 (随時) |
| 3. 職員会議 (随時) | 4. ケース会議 (随時) |
| 5. 給食会議 (毎月1回) | 6. サービス向上委員会 (毎月1回) |
| 7. 虐待防止・権利擁護委員会 (随時) | 8. リーダー会議 (随時) |

(10) 災害防止対策

防災用設備の自主点検実施のほか、災害時の任務分担、家族の緊急連絡網の職員への周知徹底を図ると共に、毎月の火災を想定した避難訓練を実施した。尚、新型コロナウイルス感染予防対策として、火災報知器は鳴らさず時間差で各サービスで実施した。また、ふれあいの里消防総合訓練（通報、避難、消火訓練）を年2回（6月、11月）予定していたが、新型コロナウイルスの影響で中止となった。

実施日	想定災害	訓練内容	参加者				
			利用者				職員
			生活介護	就労移行	就労B型	自立支援	
4月14日	火災	避難訓練	22	5	8	2	20
5月19日	〃	〃	13	3	8	2	18
6月10日	〃	〃	24	7	8	3	20
7月20日	〃	〃	23	8	8	3	24
8月7日	〃	〃	24	8	9	3	19
9月14日	〃	〃	19	7	7	3	16
10月13日	〃	〃	21	6	9	4	19
11月25日	〃	〃	24	5	10	3	17
12月3日	〃	〃	23	6	8	3	19
1月15日	震災	〃	22	7	8	2	20
2月17日	火災	〃	25	4	9	3	20
3月11日	震災	〃	22	4	8	4	20

(11) 職員研修・会議

職員の専門性の向上を目指し、質の高いサービスを提供するため、各種研修会・会議に参加した。

① 機関研修

研修日	研修名	場所	主催	職種
9月2日	令和2年度強度行動障がい支援者養成研修(基礎研修)	ふれあいの里 (YouTube配信)	大阪府障がい者自立相談支援センター	支援員

10月14日、15日、19日、20日	令和2年度第2回就業支援基礎研修	クラブウ本社ビル ※14日のみダイキンサンライズ摂津	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構	支援員
11月9日	安全運転管理者講習	摂津市文化ホール くすのきホール	大阪府公安委員会	施設長
11月13日	令和2年度強度行動障がい支援者養成研修(実践研修)	ふれあいの里 (YouTube 配信)	大阪府障がい者自立相談支援センター	支援員
11月18日	令和2年度強度行動障がい支援者養成研修(実践研修)	ふれあいの里 (YouTube 配信)	大阪府立砂川厚生福祉センター	支援員
12月9日	令和2年度強度行動障がい支援者養成研修(実践研修)	大阪府教育会館 たかつガーデン	大阪府立砂川厚生福祉センター	支援員
12月15日	令和2年度強度行動障がい支援者養成研修(実践研修)	大阪府教育会館 たかつガーデン	大阪府立砂川厚生福祉センター	支援員
12月17日	令和2年度大阪府サービス管理責任者等更新研修	大阪府社会福祉会館	一般財団法人大阪府地域福祉推進財団	支援員
2月16日 25日	令和2年度北摂版ジョブライフサポーター養成講座	豊中市立文化芸術センター	茨木・摂津障害者就業。生活支援センター	支援員
3月16日	2020年度新任職員研修	大阪府社会福祉会館	一般社団法人大阪知的障害者福祉協会	支援員

② 専門研修

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の予防という点で対面での研修は全て見送られた。北摂ブロック栄養士研修会のみ「案件」がある場合メールでのやり取りをした。

③ 施設内研修

研修日	研修名	講師	職種
9月11日	令和2年度衛生研修	(株)イーズニック	施設長他

(12) その他

① ボランティア受け入れ状況

担当者を設け、利用者の対人関係の拡大、体験学習、福祉の啓発を目的に受け入れをし、施設の社会化の一環とする。受け入れに当たっては、より職員間の意識統一を図るため、ボランティア受入れマニュアルをもとに受け入れ、定期的に会議を設ける予定でしたが、今年度は新型コロナウイルスの影響で受け入れできなかった。

② 実習生の受け入れ状況

支援学校からの実習は、教育の一環として作業学習や、施設生活を体験することで、進路選択を行うため広く受け入れた。また、新規事業を予定している民間の事業所より職員の現場実習の受け入れを行った。

※今年度は新型コロナウイルス感染予防の徹底を行い受入れを実施した。

(実習生)

実習期間	学校、施設名	受け入れ先	人数
7月13日～17日	摂津支援学校	就労移行	1
7月29日～8月4日	摂津支援学校	生活介護	1
8月5日～7日	茨木支援学校	生活介護	1
9月17日～18日	社会福祉法人桃林会	就労継続支援 B 型 生活介護	2
9月28日～30日	茨木支援学校	生活介護	1
10月12日～16日	とりかい支援学校	就労移行	1
10月19日～23日	自立支援センター ぽぽんがぼん (茨木市)	生活介護	1
1月18日	茨木支援学校	生活介護	1
3月23日	茨木支援学校 (2年生)	生活介護	1
3月26日	茨木支援学校 (2年生)	就労継続支援 B 型	1

(職場体験実習)

毎年、摂津市立第三中学校より学生の受入れを行っていますが、今年度は新型コロナウイルスの影響により受入れは行わなかった。

③ アフターケア

障がい者の自立と豊かな地域生活への実現に向けて、本人の希望や家族の状況に応じて進路選択や決定の支援を行った。また、進路先へのスムーズな移行のために調整や引継ぎなどの支援も行った。

(13) 日中一時支援事業

ご家族のレスパイトを目的に、障がい児・者を長期休暇時や放課後、他事業所利用者の平日休暇日に日中活動の場として一時的に受入れを予定していたが、今年度は新型コロナウイルスの影響で受け入れが難しかった。受入れにあたり、本体施設利用者の状況や施設面（ハード面）などの問題により、受け入れが制限されることがあり、また、利用者の障がい程度に合わせた5クラスの編成配置を行ったため、日中一時支援を受ける居室がないため児童の受け入れは難しい状況。

(14) 移動支援事業 (ガイドヘルパー派遣事業)

① 概況

一人で外出することが困難な障がいのある方の外出時に、付き添いや介助等のサービスを行うガイドヘルパーを派遣する予定だったが、新型コロナウイルス感染予防のため、今年度は見合わせた。

* 利用契約者の状況（令和3年3月31日現在）

		人 数	合 計
障害種別	知的障害	43	47
	身体障害	4	
	精神障害	0	
身体介護あり		27	47
身体介護なし		20	

② 職員研修

職員の専門性の向上を目指し、質の高いサービスを提供するため、各種研修会に参加する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で受講できなかった。

③ 各種会議

安定した移動支援サービスの提供と職員間の連携を図るため、定期的に会議を予定していたが、新型コロナウイルスの影響で移動支援事業が実施できない為、会議等も行っていない。

（15）新型コロナウイルス感染症の発生に伴う措置

大阪府や摂津市などの関係省庁の発表やガイドライン等に基づき、感染拡大防止対策の徹底を行った。新型コロナウイルス感染症の脅威から利用者の健康と安全安心な生活を守る取り組みに努めながら、法人の新型コロナウイルス対応マニュアルの徹底、ひびきはばたき園のルールやBCP（事業復興計画）、緊急連絡先リスト等の整備も行った。また、施設内で登園前と降園後にドアノブや手すり、机等を次亜塩素酸ナトリウムで消毒し、登園時に検温・手洗いうがいの徹底、体温チェックシートの提出や、利用者に視覚的にわかりやすい掲示物やパネルを用意し安全安心に活動に取り組めるように努めた。その他、各作業場には空気清浄機や換気器具等の設置等や、食堂での座席配置や人数制限、大人数での活動や行事の見直し等、利用者の受入れには細心の注意を払い対策を講じた。昨年に引き続き、施設内の感染拡大防止を目的に就労の利用者が布製のマスクの作製と販売を行った。